



認証番号0001044

64期 環境活動レポート

(活動期間:2024年8月~2025年7月)



発行日:2025年10月1日

トシダ工業株式会社 部品加工部 芝川工場

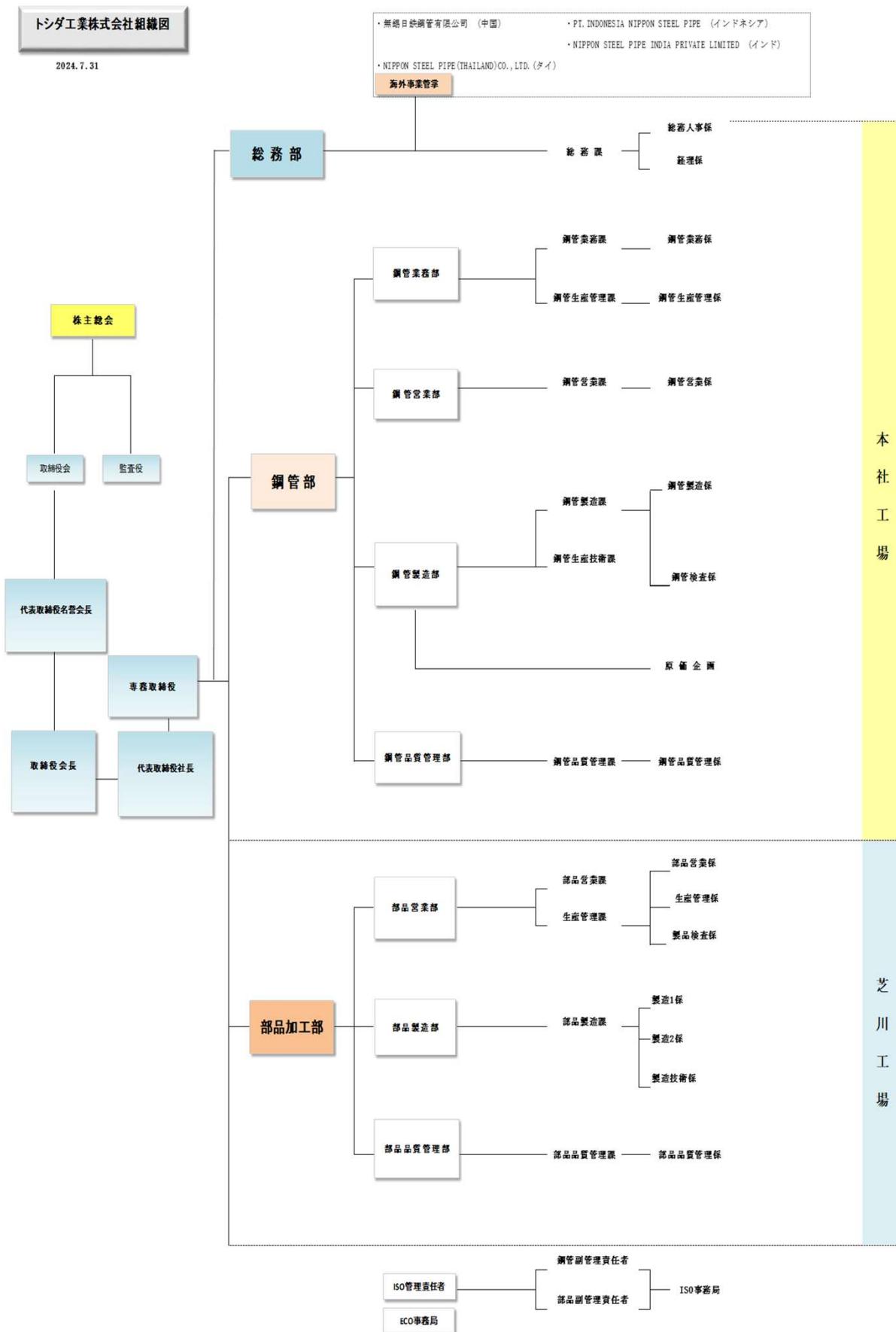
【組織の概要】

事業所名	トシダ工業株式会社 部品加工部 芝川工場・西工場
代表者名	代表取締役社長 歳田 光太郎
所在地	静岡県富士宮市上柚野 288-2
開設年月日	平成4年11月1日 芝川工場開設
関連事業所	トシダ工業株式会社 鋼管部 本社工場・東工場 所在地:静岡県富士宮市万野原新田3647-3 (エコアクション21認証取得済 2008/09/02 №.0002873)
設立年月日	昭和36年8月1日
資本金	8, 155万円
従業員数	100名（芝川工場含む）
事業概要	弊社は、昭和36年の創立以来、引抜鋼管の製造及び、部品加工を通してパイプの用途、開発を積極的に進めて参りました。 平成17年12月よりエコアクション21の活動を開始し当工場は本社工場で引抜加工されたパイプの定尺切断、曲げ、成型、口ウ付け加工等を行い、自動車用部品を始め、数多くの部品製造を行っています。

事業規模 部品加工部 芝川工場 64期(2024/8~2025/7)

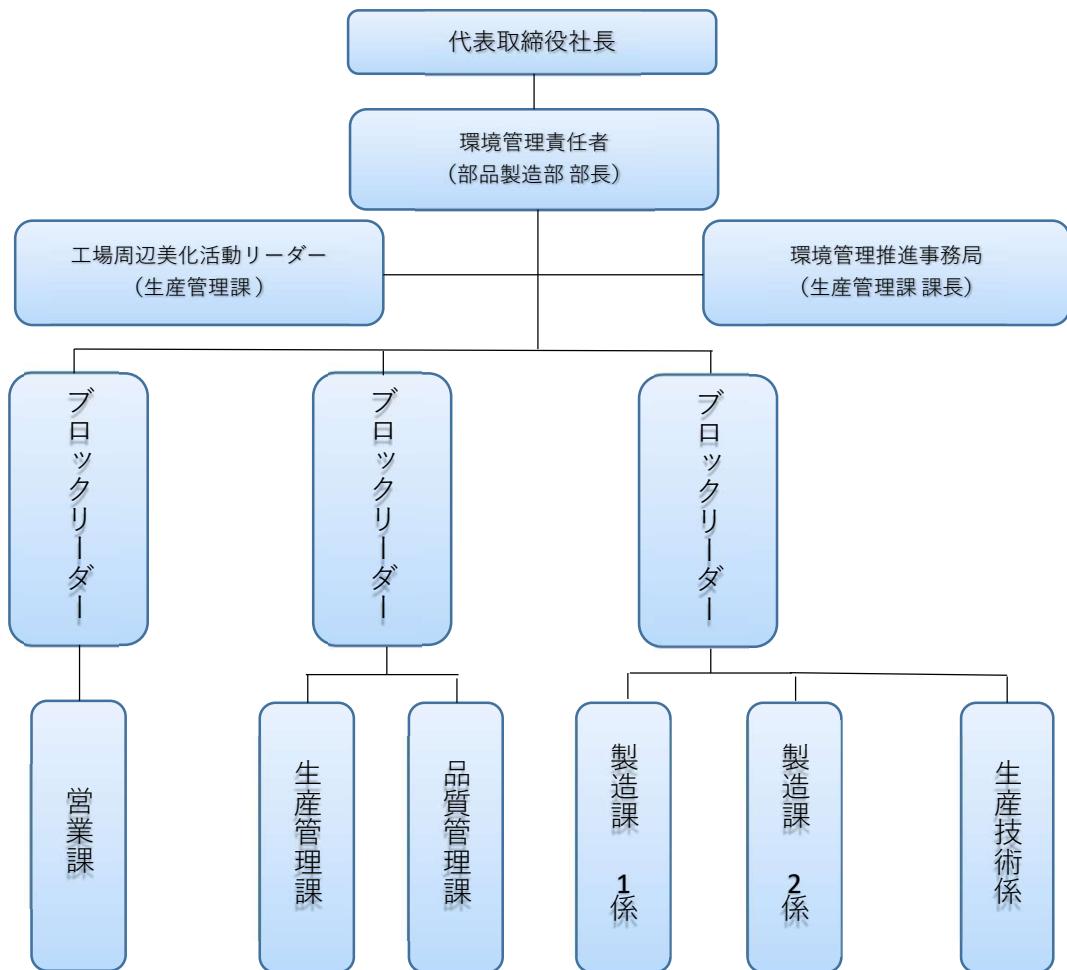
売上高	11億3374万円
製品生産量	1,588.5トン(重量換算)
所要面積	2, 085m ²
従業員数	41名
主要製品	シートベルト用プリテンショナーパイプ 燃料系ジョイントチューブ 防振ゴム用部品・シートスライド用レバー その他、自動車部品各種

【全体組織図】



【対象範囲】

環境管理責任者	部品製造部 伊東正人
環境推進事務局	部品営業部 深澤 覚
レポート対象期間	第64期(2024年8月～2025年7月)
登録範囲	トシダ工業株式会社 部品加工部 芝川工場 西倉庫
環境管理体制	



責任及び権限

- 代表取締役社長
最高意思決定者として環境マネジメントシステムを確立、実施、維持する
- 環境管理責任者
環境マネジメントシステムの確立、実施、維持に関する責任を有する
- プロックリーダー
各職場のリーダーとして環境マネジメントシステムの確立、実施、維持に関する責任を有する
- 環境管理推進事務局
環境管理推進の円滑な運営のため、職場内、及び各職場間の連絡・調整を行うとともに環境管理責任者を補佐して適用組織における環境マネジメントシステムを円滑に運営する
- 工場周辺美化活動リーダー
工場周辺地域の環境維持のため、全従業員を指揮し工場周辺の美化活動として清掃を企画運営する

【環境方針】

トシダ工業株式会社 部品加工部 環境方針

トシダ工業株式会社部品製造部は、富士山の自然環境の恵みを受けしており、地球環境の保全がこれから企業活動において最重要課題と認識し、自動車部品の製造に係わる全ての領域と、これらの製品が与える環境影響を低減するため、次の事項に基づき環境マネジメントシステム活動を推進し、地球環境との共生と調和を図ってまいります。

(1) 環境関連の法の遵守

環境に関する法律及びその他の要求事項を遵守し、緊急事態による環境への影響を除去して環境の保全に努めます。

(2) 地球温暖化防止のための省エネ活動推進

電力、石油製品、LPガスの削減活動に取り組み、二酸化炭素の排出量を抑えて地球温暖化防止に努めます。

(3) 省資源の推進

限りある地球資源の枯渇防止に努め、再生資源材料や環境に配慮した資機材によるグリーン調達、グリーン購入を図り、且つ、最終製品への直行率の向上と環境に配慮した製品の提供を推進し省資源の推進をいたします。

(4) 廃棄物の削減の実施

廃棄物の分別回収徹底とりサイクル化等により廃棄物の削減に取り組み、循環型社会形成推進に努力します。

(5) 水質汚濁の防止

富士山の湧水である芝川に排出する工場廃水の削減を推進し、生態系に配慮して水質に細心の注意を払い、河川汚濁の防止を進めます。

(6) 周辺の自然環境との調和

緑と水の豊富な自然環境に恵まれた地域で事業活動をしていることを認識し、工場周辺の美化に取り組み環境保全を果たします。

(7) 環境啓蒙活動の展開と地域活動への参加

働く者一人ひとりが本活動を理解し、積極的に活動できるよう環境方針を全従業員に周知するとともに、社外にも公表します。また、環境活動レポートの公表や地域で主催する環境保全活動にも積極的に参加して地域への貢献を推進します。

平成17年11月10日制定
平成23年 8月 1日改訂

トシダ工業株式会社
代表取締役社長 歳田光太郎

64期 環境目標と活動

環境宣言

トシダ工業株式会社品加工部は、富士山の自然環境の恵みを受けており、地域環境の保全がこれから的企业活動において最重要課題と認識し、自動車部品の製造に係わる全ての領域と、これらの製品が与える環境影響を低減するため、次の事項に基づき環境メンバシントシステム活動の展開と地域活動への参加

環境方針項目

- 1、環境関連の法の遵守
- 2、地球温暖化防止のための省エネ活動推進
- 3、省資源の推進
- 4、廃棄物の削減実施
- 5、水質汚濁の防止
- 6、周辺の自然環境との調和
- 7、環境啓蒙活動の展開と地域活動への参加

【環境目標と活動】

※64期活動期間 令和06年8月～令和07年7月						
環境目標	具体的目標	目標値	環境活動計画	実施期間	担当	中長期(3年後) 66期達成目標
二酸化炭素排出量削減	購入電力 63期実績573.9kwhから ±0.5%削減	571.03kwh/トン	デマンドシステムの継続的活用に省エネ 朝礼時での節電啓蒙、こまめな消灯運動推進	8月～期末	伊東	
	二酸化炭素排出量 63期実績358kgから 0.5%削減	356.2kg-CO ₂ /t	省エネ情報収集と活動検討 エアーリーク、油漏れ箇所の洗出しと改善	9月完了	伊東	二酸化炭素排出量 64期実績0.5%削減
廃棄物排出量削減	廃油量 63期実績1,685kgから 0.5%削減	1,676kg/トン	生産性の改善	8月～期末	伊東	
	金属くず排出量 63期実績54.4kgから 0.5%削減	54.12kg/トン	工程内不良率低減活動の推進	8月～期末	高橋	廃棄物排出量 64期実績0.5%削減
工程内不良率削減	工程内不良率 0.70%	0.70%	キズ・圧痕不良の原因究明と改善	8月～期末	太田原	工程内不良率 0.7%以下
総排水量の削減	水使用量 63期実績1.4tから 0.5%削減	1,393m ³ /トン	朝礼時の節水啓蒙の推進	毎週月曜	高橋	総排水量 64期実績0.5%削減
	キシレン使用量 63期実績34.8kgから 0.5%削減	34.62g/トン	生産性の改善	8月～期末	佐野 森	化学物質使用量 64期実績0.5%削減
化学物質使用量の削減	ペガール使用量 63期実績35.1kgから 0.5%削減	3.48L/トン	生産性の改善			
	グリーン購入の推進 エコマーク製品の購入	63期実績10.0%を維持	購入率90%以上 エコマーク事務用品の購入	8月～期末	佐野	グリーン購入 エコマーク製品購入率90%
緊急対応訓練の実施	緊急対応訓練の実施	年1回実施	防災訓練	1回	伊東	緊急対応訓練 年1回実施
工場周辺美化活動の推進	工場周辺美化活動の推進	月1回実施	工場周辺のクリーン作戦の実施	随時	佐野	工場周辺美化活動 月1回実施
地域活動への参加	地域活動への参加	年2回参加	ボランティア参加依頼に対し随時検討	随時	伊東	地域活動への参加 年2回参加

※各項目の目標値は総生産数トン当たりの目標とする

64期 環境活動計画表

社長	部長	作成
高橋・佐野 伊東	伊東 伊東	伊東 伊東

【環境活動計画書】

目標	実施事項	担当	実施部門	2024年												2025年			
				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	準備月間	1日～7日		
イベント	労働安全週間	高橋・佐野 伊東																	
	労働衛生週間	高橋・佐野 伊東					1日～7日												
	品質月間	太田原 太田原							1日～30日										
	QC発表会																		
法律・条例の遵守	緊急対応訓練	伊東 伊東																	
	遵守状況の確認	伊東 伊東																	
	取りまとめ表の見直し	伊東 伊東																	
	デマンドシステムの活用	稻葉 稻葉																	
二酸化炭素排出量の削減 購入電力の削減	省エネ・節電の啓蒙推進	稻葉 稻葉																	
	エアリーク・油漏れの改善	高橋 伊東																	
	廃油量の削減	伊東 伊東																	
	歩留まり率の向上	伊東 伊東																	
工程内不良の低減	キズ・圧痕不良対策の実施	太田原 太田原																	
	水使用量の削減	太田原・伊東 伊東																	
	キシレン使用量の削減	洗浄液使用量削減活動の推進	高橋 高橋																
	トルエン使用量の削減	シンナーでの洗浄作業の廃止	高橋 高橋																
ペガジール使用量の削減	洗浄液使用量削減活動の推進	高橋 高橋																	
	エコマーク製品の購入	エコマーク事務用品の購入	佐野寿 佐野寿																
	緊急対応訓練の実施	油漏れ流出対応訓練の実施	高橋 伊東																
	工場周辺美化運動の推進	工場周辺のクリーン作戦の実施	伊東・佐野 伊東																
地域活動への参加	地域ボランティア活動への参加	伊東・佐野 伊東																	

効果確認
伊東

【環境活動目標と実績】

64期 環境目標と実績

活動期間 64期: 2024/08~2025/07

目標及び実績値:各項目の総生産数対比での月平均値

環境目標	具体的目標			実績評価	
	項目	単位	目標	実績	評価 (達成度)
二酸化炭素排出量の削減	温室効果ガス排出量	Kg-CO ₂ /t	356.2	369.7	96.3%
	購入電力	kwh/t	571.0	667.1	85.6%
	エアーリーク・油ダレ改善	件	隨時	52.0	100.0%
廃棄物排出量の削減	廃油量	kg/t	1.676	2.14	78.3%
	金属くず排出量(有価物)	kg/t	54.12	52.88	102.3%
工程内不良率の低減	工程内不良率	%	0.7	0.74	94.6%
総排水量の削減	水使用量	m ³ /t	1.393	1.5	92.9%
化学物質使用量削減	キシレン使用量	g/t	34.62	37	93.6%
	ペガゾール使用量	L/t	3.48	4.36	79.8%
グリーン購入の推進	エコマーク商品の購入	% (調達率)	90.00%	100.0%	111.1%
緊急対応訓練の実施	ガスボンベ置場転倒防止訓練	-	年1回	1回	100.0%
周辺の自然環境との調和	工場周辺の美化活動	-	月1回	隨時	
環境地域活動への参加	ボランティア活動の参加	-	年2回	年1回	50.0%

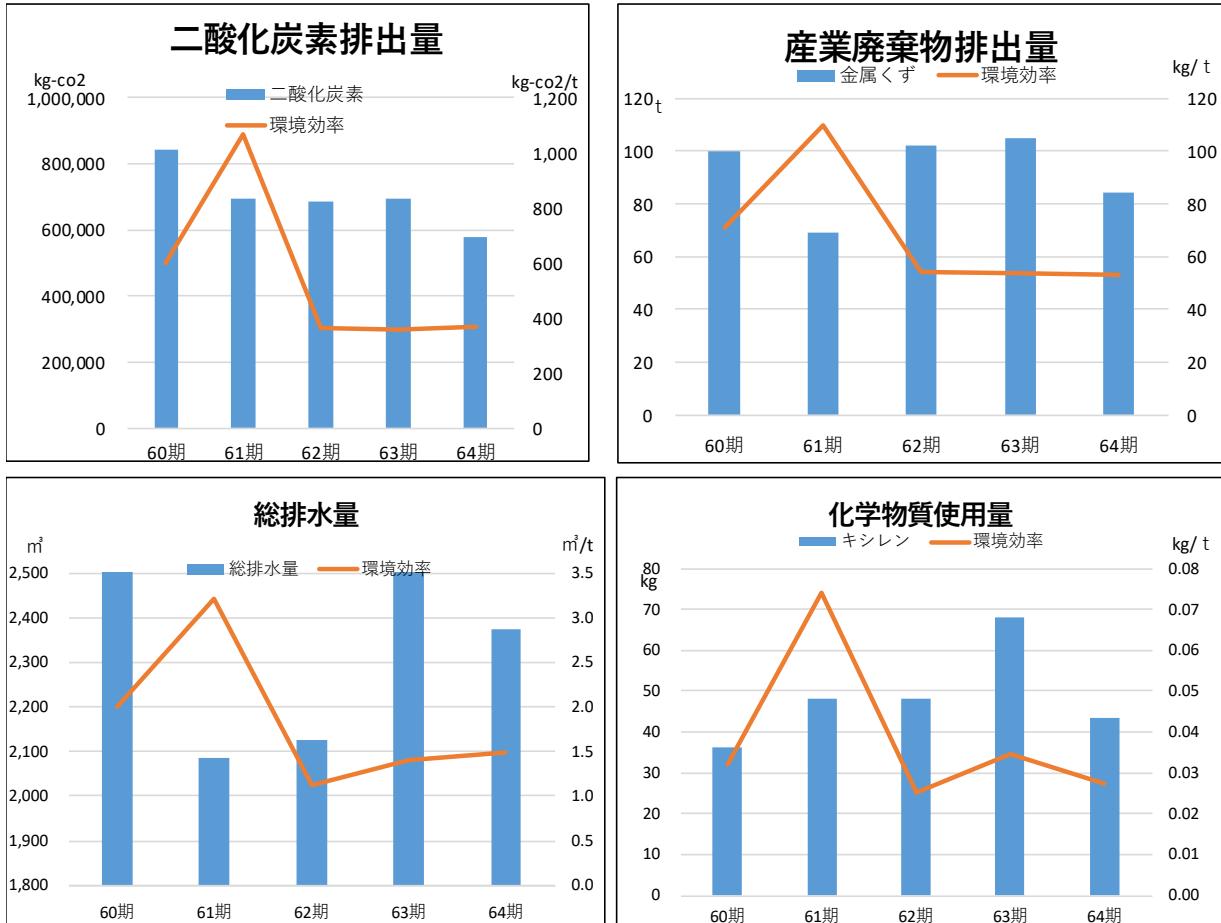
※二酸化炭素排出係数は2024年度「北海道電力実排出係数」0.526kg-CO₂kwh を使用

【環境への負荷の状況】

環境への負荷の状況（取りまとめ表）

※64期は2024/8～2025/7までのデータ

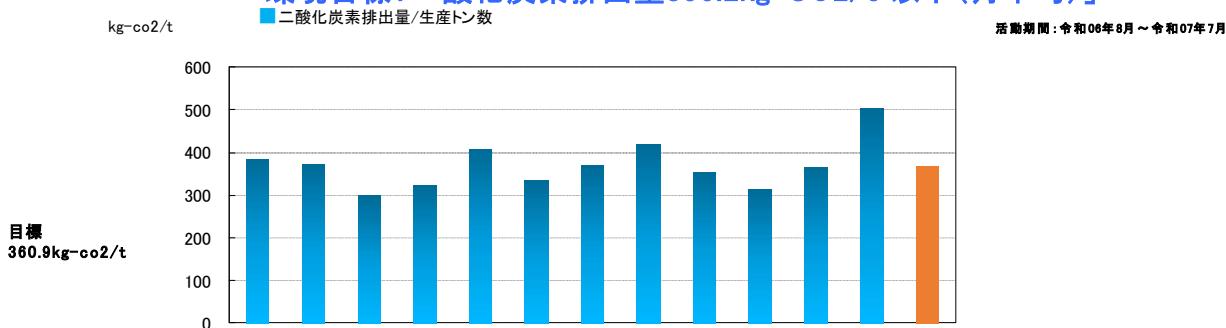
環境への負荷		単位	60期	61期	62期	63期	64期
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO ₂	843,353.6	693,390.2	687,040.9	693,195.2	576,845.5
	環境効率(生産数比)	kg-CO ₂ /t	602.0	1,069.5	364.5	357.6	369.7
② 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	段ボール	t	1.9	1.2	1.3	1.3	1.0
	一般廃棄物	その他可燃ごみ	t	27.6	27.6	27.6	27.6
		最終処分量	t				
	産業廃棄物	汚泥(廃油)	t	1.5	1.9	1.9	3.3
		金属くず	t	99.9	69.1	102.3	104.6
		環境効率	kg/t	71.2	109.5	54.0	53.4
		最終処分量	t				
③-1 総排水量	公共用水域	m ³	3,127.7	2,086.2	2,126.4	2,761.7	2,374.2
	環境効率(生産数比)	m ³ /t	1.99	3.21	1.12	1.41	1.49
④ 化学物質使用量	キシレン	kg	36.1	48.0	48.0	68.0	43.6
	環境効率(生産数比)	kg/t	0.032	0.074	0.025	0.035	0.027



【環境活動計画と実績】

64期 環境活動計画管理表

「環境目標:二酸化炭素排出量356.2kg-CO₂/t 以下(月平均)」



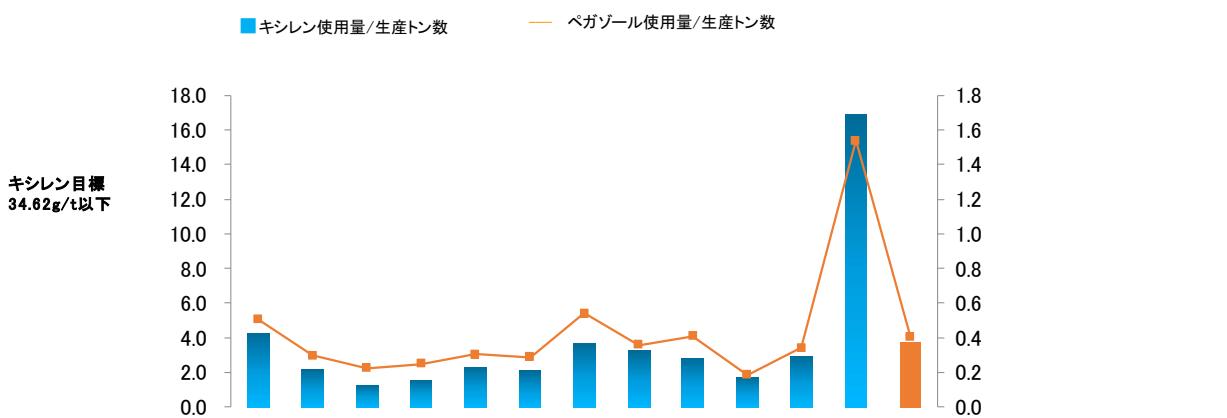
活動項目	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	月平均
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /t)	384	370	298	321	408	334	368	419	354	313	365	502	370
評価 目標:356.2kg-CO ₂ /t	×	×	○	○	×	○	×	×	○	○	×	×	×
エアーリーク改善(件数)	4	1	3	3	3	1	3	1	2	2	3	2	2.3
評価 目標:2箇所以上	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○
油ダレ改善(件数)	2	2	3	2	2	1	1	3	2	2	2	2	2.0
評価 目標:2箇所以上	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○

※二酸化炭素排出量は排出量÷総生産トン数にて表記
※二酸化炭素排出係数は0.526kg-CO₂kwhを使用

64期 環境活動計画管理表

「環境目標:化学物質使用量 前期比0.5%削減」

活動期間: 令和06年8月～令和07年7月

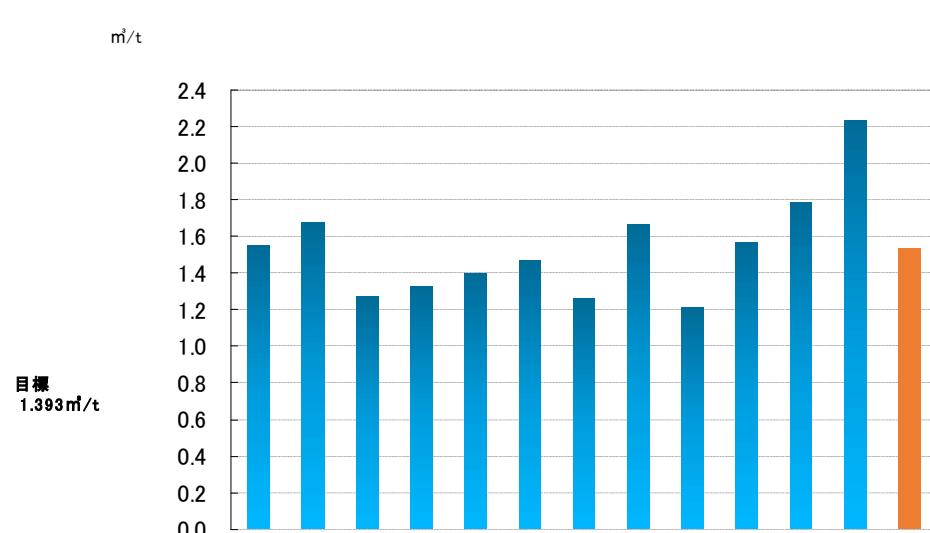


活動項目	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	月平均
キシレン使用量(g/t)	50.5	29.5	22.4	24.8	30.2	28.7	54.1	35.9	40.8	18.5	34.1	153.7	43.6
評価 目標:34.62g/t以下	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×
ペガゾール使用量(L/t)	5.1	3.0	2.2	2.5	3.0	2.9	5.4	3.6	4.1	1.9	3.4	15.4	4.4
評価 目標:3.48L/t以下	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×

64期 環境活動計畫管理表

「環境目標：地下水使用量 $1.393\text{m}^3/\text{t}$ 以下(月平均)」

活動期間：令和06年8月～令和07年7月

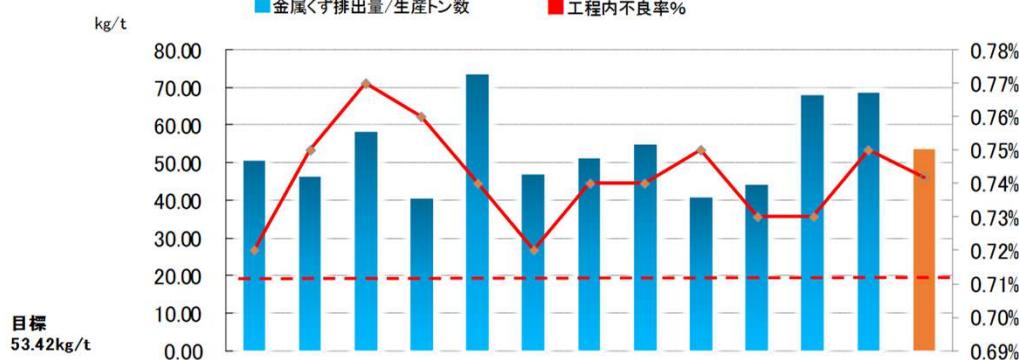


活動項目	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	月平均
地下水使用量 (1,393m³/t)	1.55	1.67	1.27	1.33	1.40	1.46	1.26	1.67	1.21	1.57	1.79	2.24	1.5
評価 目標: 1,393m³/t以下	×	×	○	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×

64期 環境活動計畫管理表

「環境目標: 金属くず(有価物)排出量 54.12kg/t 以下(月平均)」

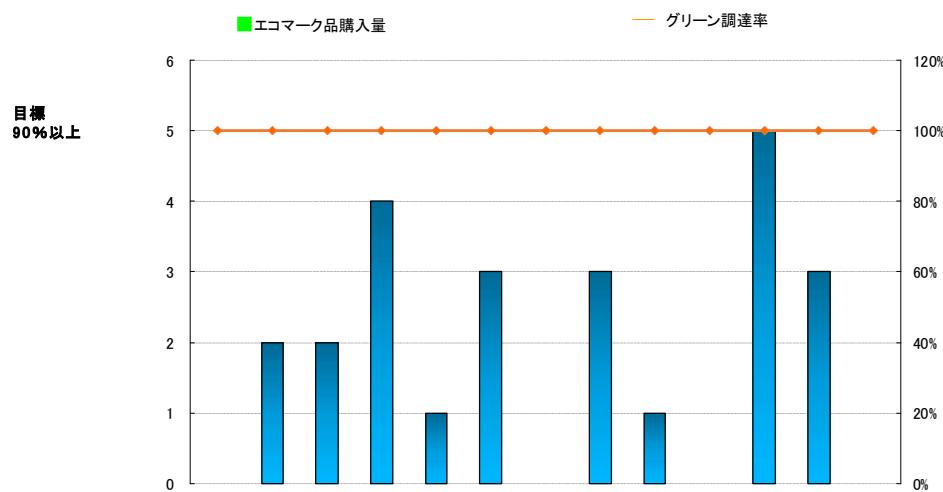
活動期間：令和06年8月～令和07年7月



64期 環境活動計画管理表

「環境目標: グリーン調達率 90%以上」

活動期間: 令和06年8月～令和07年7月



活動項目	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	月平均
ECマーク品購入量 (件)	0	2	2	4	1	3	0	3	1	0	5	3	3
グリーン調達率 (%)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%
評価 目標: 97.2%以上		○	○	○	○	○		○	○		○	○	○

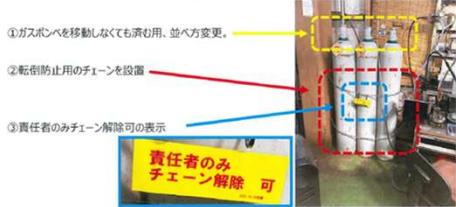
■その他活動の取り組み

1、緊急対応訓練

ガスボンベ置場緊急時対応訓練

- ・転倒事故防止訓練

2025年6月9日(月)朝礼時に訓練



2、工場周辺の清掃活動

随時巡回し清掃実施

3、清掃ボランティア活動への参加

2024.11 静岡銀行主催にて「小さな親切運動」へ参加



【環境関連法規等の遵守状況の確認、評価の結果、違反訴訟等の有無】

環境関連法規についての違反はありません。また、関係機関等から違反等の指摘もありません。近隣住民からの苦情・訴訟等も過去にもありません。

63期 環境関連法規遵守状況評価

遵守状況 ○:遵守 ×:不適合

評価実施日:2025/07/31

法令・条例名・主要法規制等	遵守状況
■水質汚濁防止法	○
■産業廃棄物処理法	○
産業廃棄物の保管基準の遵守	○
廃棄物の飛散・流出の防止	○
産業廃棄物の処理委託基準	○
産業廃棄物処理の委託先の実地確認と記録の保管	○
■リサイクル法	○
■容器・包装リサイクル法	○
■騒音規制法	○
■振動規制法	○
■PRTR法	○
有害化学物質の使用・排出・移動・廃棄などの適正管理	○
■浄化槽法	○
■家電リサイクル法	○
■フロン排出抑制法	○
■自動車リサイクル法	○
■グリーン購入法	○
物品を購入する場合はできる限り環境物品を購入するよう努める	○
■1都3県ディーゼル車規制条例	○
■消防法	○

上記の「環境法規の取りまとめ」に準じます

代表者による全体評価・見直し記録表

評価日:令和 07年 7月 31日
評価者:歳田 光太郎
情報提供者:歳田光太郎

見直し関連情報	環境目標及び達成状況	環境目標	具体的目標				評価	
			項目	単位	目標	実績		
二酸化炭素排出量の削減		温室効果ガス排出量	Kg-CO ₂ /t		356.2	369.7	96.3%	
		購入電力	kwh/t		357.0	667.1	53.5%	
		エアーリーク・油ダレ改善	改善件数		随時	52.0	100.0%	
廃棄物排出量の削減		廃油量	kg/t		1.676	2.14	78.3%	
		金属くず排出量(有価物)	kg/t		54.12	52.88	102.3%	
工程内不良率の低減		工程内不良率	%		0.7	0.74	94.6%	
総排水量の削減		水使用量	m ³ /t		1.393	1.50	92.9%	
化学物質使用量削減		キシレン使用量	g/t		34.62	37.00	93.6%	
		ペガゾール使用量	L/t		3.48	4.36	79.8%	
グリーン購入の推進		エコマーク商品の購入	% (調達率)		90.0%	100.0%	111.1%	
緊急対応訓練の実施		ガスボンベ置場緊急時対応訓練	-		年1回	1回	100.0%	
周辺の自然環境との調和		工場周辺の美化活動	-		月1回	隨時	0.0%	
環境地域活動への参加		ボランティア活動の参加	-		年2回	年1回	50.0%	
環境活動計画の実施及び運営結果		目標値未達項目については、翌期への課題とする						
環境関連法規の遵守状況		環境関連法規についての違反はありません。また、関係機関からの違反、指摘はありません						
外部からの環境に関する苦情や要望等		近隣住民からの苦情、訴訟等はありません						
代表者による全体評価・見直し指示	見直し項目	変更の必要性	指摘事項等					
	環境方針	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	方針遵守が定着していますので従来通り継続して下さい。					
	環境目標	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	排出量自体は減少しているが対生産割合では大きく悪化。生産品目の違いも大きく影響した事は理解できるが、基本の生産性が悪化していると思われる。					
	環境計画及び環境システム等	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	製造現場への落し込みも展開しており順調に機能しています。					
	全体評価・コメント	各所で改善に努め、無駄をはぶく活動が展開できた。意識の高まりを感じた1年であった。						

65期 環境目標と活動

環境宣言

トシダ工業株式会社部品加工部は、富士山の自然環境の恵みを受けており、地域環境の保全がこれから的企业活動において最重要課題と認識し、自動車部品の製造に係わる全ての領域に、これらの製品が与える環境影響を低減するため、次の事項に基づき環境マネジメントシステム活動の展開と地域活動への参加

- 1.環境関連の法の遵守
- 2.地球温暖化防止のための省エネ活動推進
- 3.省資源の推進
- 4.廃棄物の削減実施
- 5.水質汚濁の防止
- 6.周辺の自然環境との調和
- 7.環境啓蒙活動の展開と地域活動への参加

環境方針項目						
環境目標	具体的目標	目標値	環境活動計画	実施期間	担当	中長期(3年後) 66期達成目標
二酸化炭素排出量削減	購入電力 64期実績667.1kwhから0.5%削減	663.76kwh/トン	デマンドシステムの継続的活用に省エネ 朝礼時での節電啓発、こまめな消灯運動推進	8月～期末	伊東	
	二酸化炭素排出量 64期実績369.7kgから0.5%削減	367.85kg-CO ₂ /t	省エネ情報収集と活動検討 エアリーク、油漏れ箇所の洗出しと改善	9月完了 8月～期末	伊東 伊東	二酸化炭素排出量 64期実績0.5%削減
廃棄物排出量削減	廃油量 64期実績2.14kgから0.5%削減	2.129kg/トン	生産性の改善	8月～期末	高橋	
	金属くず排出量 64期実績52.88kgから0.5%削減	52.61kg/トン	工程内不良率低減活動の推進	8月～期末	高橋	廃棄物排出量 64期実績0.5%削減
工程内不良率の削減	工程内不良率 0.70%	0.70%	キズ・圧痕不良の原因究明と清し込み	8月～期末	太田原	工程内不良率 0.7%以下
総排水量の削減	水使用量 64期実績1.5m ³ /から0.5%削減	1.49m ³ /トン	朝礼時での節水啓蒙の推進	毎週月曜	高橋	総排水量 64期実績0.5%削減
化学物質使用量の削減	キシレン使用量 64期実績31gから0.5%削減	36.81g/トン	生産性の改善	8月～期末	高橋 佐野 森	
	ペガノール使用量 64期実績4.36Lから0.5%削減	4.33L/トン	生産性の改善			化学物質使用量 64期実績0.5%削減
グリーン購入の推進	エコマーク製品の購入 64期実績100%を維持	100%を維持	エコマーク事務用品の購入	8月～期末	佐野	グリーン購入 エコマーク製品購入率100%を維持
緊急対応訓練の実施	緊急対応訓練の実施	年1回実施	防災訓練	1回	伊東	緊急対応訓練 年1回実施
工場周辺美化活動の推進	工場周辺美化活動の推進	月1回実施	工場周辺のクリーン作戦の実施	随時	佐野	工場周辺美化活動 月1回実施
地域活動への参加	地域活動への参加	年2回参加	ボランティア参加依頼に対し随時検討	随時	伊東	地域活動への参加 年2回参加

※各項目の目標値は総生産量トン当たりの目標とする

※65期活動期間 令和07年9月～令和08年7月